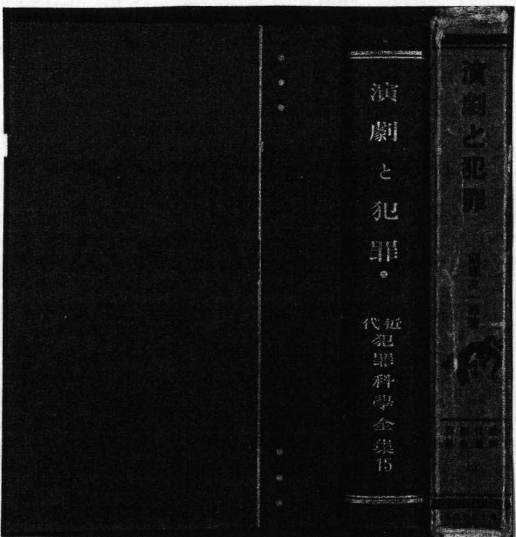


飯塚友一郎 いひづか ともいちろう 演劇研究者。明治二十七年十一月十一日東京生まれ、昭和五十八年四月二十一日没（八九四—一九三三）。大正八年東京帝國大學法學部卒。辯護士開業。昭和七年日本大學教授、のち「松學會大」學教授。日本演劇學會創設に參與。國劇劇場評議員、松竹歌舞伎審議會重門委員など。

著書『歌舞伎狂言細見』（大正八年九月）『日本歌舞伎新報社』、『農村劇場』（昭和二年十一月十五日本燈閣）、『歌舞伎概論』（昭和二年九月）『白雲文館』、『アレクサンダー・ドネーキン著』『小劇場—其の方法』（譯、昭和四年四月）『八幡文館』、『演劇研究叢書』（『演劇と犯罪』（昭和五年九月十日武俠社）『近代犯罪科學全集』（カール・マンツィウス著）『世界演劇史』（譯、第一卷・昭和五年十一月十一日、第二卷・六年二月二十日、第四卷・五月二十日平凡社）、『婦人公論大學』、『演劇叢書』（合著・島中雄作編）



昭和六年十一月十一日中央公論社）、『演劇研究の方法』（昭和十一年二月二十日白岡倉書房）、『新劇と舊劇』（昭和十二年一月二十日白岡倉書房）、『歌舞伎問答』（昭和十二年五月二十七日帝國教育會第七回世界教育會議日本事務局「日本文化講座」）、『綜合』二十五年史（合著、昭和十五年一月一日日本評論社『日本評論』一月號別冊附録）、『國民演劇と農村演劇』（昭和十六年二月二十日清水書房）、『素人演劇講座』（合著・池谷作太郎編、昭和十六年九月二十七日日本文

化中央聯盟)、『演道藝術論』(合著・永野止人編、昭和十六年十月  
五日)日本大學藝術科學園)、『歌舞伎入門』(昭和十七年八月二十日  
朝日新聞社「朝日新選書」)、『藝能文化論』(昭和十八年六月、千  
白鶴書房)、『野外藝能と野外集會所(會場)・舞臺の手引』(高橋  
晋兵著、昭和十九年十一月大政翼賛會文化勸員部「第10回新設感謝祭  
用文化運動資料」)、『農村と演劇―農村演劇の歴史的發展と新構想  
への示唆』(昭和二十一年十一月二十五日全國農業會家の光協會「家  
の光文庫」)、『演劇學序説(演劇論の發展と、その演劇學の構想へ  
の導き)』(全二冊)上卷・昭和二十二年六月五日、下卷・二十四年二  
月一日雄山閣)、『歌舞伎の新研究―附昭和二十八年版演劇年鑑』(合  
著・日本演劇學會編、昭和二十七年十月十五日中央公論社「演劇學會  
誌」)等。